

(単元) 生物の多様性と生態系

(本時のねらい)

気温と降水量の違いによって、地球上で様々なバイオームが成立していることを理解する。

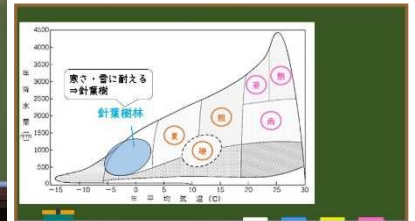
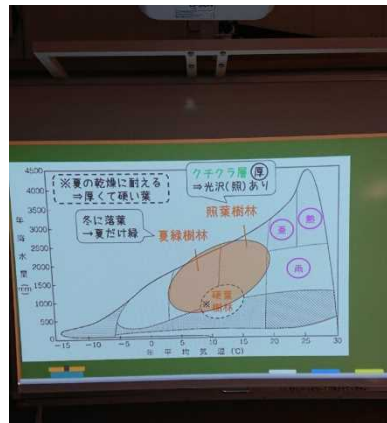
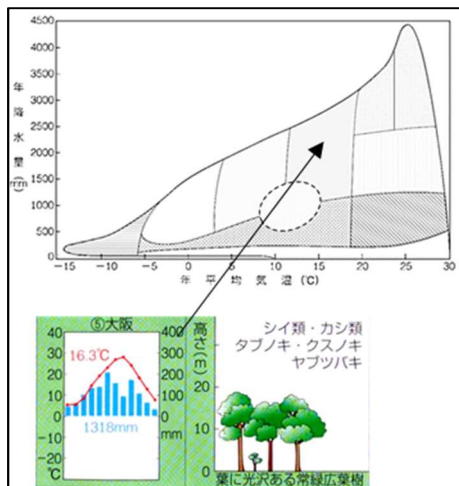
(ICT活用方法)

気温と降水量とバイオームの関係を示すグラフを電子黒板で提示し、気温と降水量の変化によってバイオームが変化していくことを順に示していく。教科書等でグラフ全体を見ただけでは理解しにくいところであり、なぜ各バイオームがその特徴をもつのかを、順を追って説明するためにパワーポイントを用いた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 5分	バイオームが降水量と気温によって決まることを確認する。			
展開 40分	各バイオームにおける年間気温・降水量のグラフを用いて、バイオームと気温・降水量の関係を示すグラフのどこに各バイオームが当てはまるかを、グループで話し合い、ホワイトボードにまとめる。  それぞれのバイオームについて、植生の特徴とその理由を関連させながら理解する。	各バイオームではどのような植生が形成されるかを説明し、「なぜそのような植生が育つのか」を考えさせ、発表させながらバイオームの図をまとめる。	配布したものを電子黒板に提示し、注目するポイントを助言する。  パワーポイントを用いてグラフを提示し、各バイオームについて生徒に発表させながらグラフのまとめを行う。	
まとめ 5分				※補足など

(授業の様子)



①どこに当てはまるかをグループで話し合った。

②バイオームと気温・降水量の関係を示すグラフを用いて、各植生の特徴を確認しながらまとめた。

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

単に暗記するだけでなく、なぜ各バイオームが成り立っているかについて理解できた生徒が多く見られた。しかし、教科書や資料集の写真だけでは実際の様子をイメージしにくいいため、もっと多くの写真や資料を準備して電子黒板で提示するなどすれば、より生徒がイメージしやすかったと思われる。

バイオームは動物なども含まれるため、植生だけでなく各バイオームに生息する動物の特徴まで関連付けるなどの改善も挙げられる。